

全国で146組合がストライキ実施！

第一日赤職労と第二日赤労組は 始業時1時間指名ストライキで決起

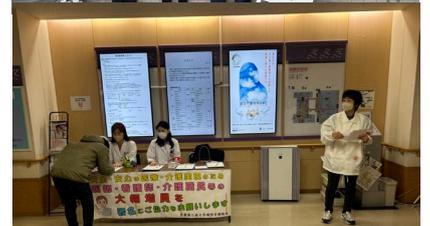
3月13日、全日赤本部は本社と団体交渉を実施。全日赤は職場の実態を訴えましたが、「春闘は始まったばかりで状況を見極め、日赤の足元の財政状況も踏まえて検討するので回答は差し控えたい」と具体的な回答はなし。本社回答なしの不誠実な姿勢に抗議するために、第一日赤職労と第二日赤労組はストライキを決行。



第一日赤は、3人の組合員がストで決起。病院に賃上げや職場要求等を申し入れました。更衣室（1・2階）まで朝ビラを実施。京都医労連からは、佐々木書記次長、阿部執行委員、松本執行委員が支援に駆けつけました。



第二日赤は、4人の組合員がストで決起。本社團交報告の朝ビラのあと、B棟外来フロア9人で、患者さん向けビラ約150枚配布しながら、署名を呼びかけ、73筆の署名が集まりました。勝野委員長、坂田書記長、白井執行委員、細見執行委員が支援に駆けつけました。



桂労組は昼休み外来前宣伝に

桂労組は、昼休みに外来前宣伝を実施、医労連役員3人が支援しました。「夫の付き添いに病院に。夜中に看護師さんがバタバタと。看護師さんの方が大変ね」と患者さんの家族が署名に協力してくれました。30分間で45筆の署名の協力いただきました。



民医労各支部は各事業所で宣伝（写真は各施設前の宣伝の様子）

京都民医労は、回答指定日の13日に団交には、83人が参加、「全職員に同率のベースアップを」「一時金は年間回答を」「団結維持・士気の上がる回答をと追求しました。しかし、経営者の回答は「3月末に予算が固まる。ベースアップ評価料を踏まえたベアの回答はいつになるかわからない。」と職員の切実な訴えに向き合いませんでした。京都民医労は、午後時限全面&指名スト決行！！各支部が病院や診療所、介護施設前などで団交報告を行いました。その後、四条烏丸の京都医労連の宣伝行動に合流しました。



洛西ニュータウン病院労組は腕章で結集



洛西ニュータウン労組は腕章着用で産別結集。3月7日の団体交渉では、「定期昇給のみ」「診療報酬改定の賃上げ評価については可能な範囲で活用を検討」の回答に留まりました。他の病院と比較して低い賃金水準の底上げを求めましたが、経営状態ではベアできないとの判断。第二次要求を提出し、次回団交を奮闘するように団交後の執行委員会で確認しました。

太秦は14日・15日両日で昼休み集会

13日の回答指定日に回答が示されず、太秦労組は14日（12人参加）、15日（10人参加）と昼休み集会を実施。ベアが当たり前の春闘と意思統一し、28日の団交参加を呼びかけました。

